

全労金2019春季生活闘争ニュース・第24号

《合意速報No. 6》

近畿労組が金庫との団体交渉で、「基本合意」を表明しました！

近畿労組は、3月27日9時30分から、金庫と「団体交渉」を開催し、基本合意を表明しました。要求と回答は以下の通りです。

	要 求 (金庫)					回 答 (金庫)				
	正職員	準職員			再雇用 嘱託職員	正職員	準職員			再雇用 嘱託職員
		A	B	C			A	B	C	
基本賃金	3等級3,000円 の引き上げ	2,000円の引き上げ			—	3等級 2,000円	1,500円			—
一時金	4.2	4.2	1.68	0.42	0.84~4.2	4.2	4.2	1.68	0.42	0.84~4.2
昨年実績	4.2	4.2	1.68	0.42	—	4.2	4.2	1.68	0.42	—
安定雇用	無期転換	—	(実現)		登用状況 を把握	—	(実現)		登用状況 を把握	—
	登用制度		(実現)				(実現)			
最低賃金	(時給1,000円到達)					(時給1,000円到達)				
雇用環境	ジョブ・リターン	(実現)			—	(実現)			—	
	年休積立	(2019年4月から導入)				(2019年4月から導入)				
	私傷病休職	—	(実現)			—	(実現)			
公正処遇	年休	—	(実現)		—	—	(実現)		—	
	生休		(実現)				(実現)			
	母性保護		(実現)				(実現)			
単組独自要求	—					—				

団体交渉において、金庫からは「今春闘の妥結にあたっては、現下の厳しい経営状況、および今後の見通しも踏まえ、労組として総合的に判断いただいたものと受け止めている。2018年度の当期純利益は、組合員の頑張りもあって計画を達成する見込みであるが、計画の絶対額水準が低かったことや、貸出金利息は計画に対して未達成であり、次年度以降も厳しい状況が続くものと見込んでいる。そのような中、正職員3等級の基本給、および、準職員の職務給に関する要求に対して、金庫として精一杯の回答を提示した。現在の金庫経営の状況でベアを判断することは容易ではなかったが、満額ではないものの要求に誠意をもって応えることで職員に対するメッセージとしたい。金庫はまだまだ成長できるということ、頑張れば報われるということ、を組合員の皆さんにも共有していただきたい。本日の妥結に至る交渉過程では、金庫の経営状況や見通しだけでなく、職場・組織の活性化に向け、「外部環境」「内部環境」「金融環境」を踏まえ、時間をかけて議論させていただいた。この間の交渉で浮き彫りとなった課題を、労使で解決す

るためには、さらに論議し、具体的な取り組みを進めていく必要性を感じている。様々な課題の中で、例えば人材確保の観点からは、期中退職者増加に伴う対応として、通年で中途採用実施を本格的に検討する時期にきていると感じている。ボリューム拡大目標を達成することで、基礎的収支も改善できる見通しとなっており、是が非でも目標を達成する必要がある。そのためには、労使が認識を共有し、ともに知恵を出し合っていくことが必要不可欠である」等の見解が表明されました。

奥中闘争委員長は、「労組は厳しい状況だからこそ、ピンチをチャンスと捉えて、近畿ろうきんが飛躍するうえで必要となる“金庫全体が一丸となってチャレンジしていく組織風土の醸成”に加え、“職員の将来不安や疲弊感を払しょくし、一人ひとりが働きがいや金庫の将来に自信と誇りを持ち、全体でろうきん運動の発展と事業拡大に邁進できる組織づくり”を本気で進める決意を持って交渉に臨んだ。交渉では、職場・組織の活性化に向けて“組織風土改革”の実行をテーマに議論し、労使で共有した課題認識と取り組み内容を、労使で組織改革プロジェクトとして取り組むことを確認できた。金庫から示された回答は、職員の努力・奮闘を評価し、労組の決意を金庫が正面で受け止めたからこそ、精一杯の水準が示されたものと重く受け止めている。また、この難局を役職員が一丸となって乗り越えるという決意の表れであると認識している」等を表明しました。

単組は、①基本賃金の改善については、要求通りではないものの、「賃金は上がるもの」が全体の共通認識になるものと判断したこと、②年間一時金については、満額回答であり、今年度の職員・組合員の努力・奮闘への評価と次年度への期待が示されたものと判断したこと、③組織風土プロジェクトに労使で取り組むことを確認できたこと、④3等級・準職員組合員の日々の頑張りや思いに加えて、その頑張りを見ている職場の声も労使で共有できたこと、等から基本合意を表明しました。

*合意単組（6単組／3月27日14時20分現在）

長野・北海道(金庫・関連)・四国・沖縄・セントラル・近畿(金庫)

以 上